

エキュメニカル 知っておきたいキリスト教のことば (25)

エキュメニカルとは全般的、普遍的、世界的という意味がある一般的な語で、ギリシア語では、「人の住む世界」、「全世界」という意味を持ちます。その言葉が、教会一致（エキュメニズム）を示す形容詞として、キリスト教用語となりました。

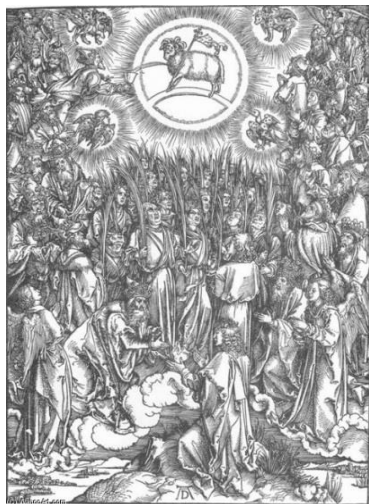
キリスト教はその歴史の中で、ローマ・カトリック教会、正教会、英国国教会（聖公会）、プロテスタント諸教会へと分裂していきます。

しかし 20 世紀に入って、教会一致の試みが活発化しました。その大きな流れとして挙げられるのが、1910 年にエディンバラ（スコットランド）でおこなわれた「第一回世界宣教会議」です。この会議にはプロテスタント諸教会が集まり、教派を超えて一致することを目指しました。

そして二度の世界大戦を経て、1948 年「世界教会協議会（WCC）」がオランダのアムステルダムで結成されます。その時には 150 ものプロテスタント諸教会が代表を送りました。現在スイスのジュネーブに本部事務局を置く WCC には、正教会、聖公会を含む 110 ヶ国 349 の教会・教派が参加しています。

ローマ・カトリック教会は 1962～65 年の第二ヴァチカン公会議において、エキュメニズムに関する教令を發布します。その教令は「すべてのキリスト者の間の一致再建を促進することは、聖なる第二ヴァチカン公会議のおもな目的の一つである」という書き出しで始まっています。そしてこの第二回公会議以降、WCC にもオブザーバーとして参加しています。

聖公会は「ブリッジ・チャーチ（橋渡しの教会）」とも呼ばれます。それは、ローマ・カトリックにもプロテスタントにも近い部分があるからです。わたしたちはその意味を考え、キリスト教の教派のみならず、いろいろな宗教とも対話をしながら、歩んでいければと思います。



次回は「エマオ」です。お楽しみに。